

# 森と、杣と。

Mori to Soma to

2025.12

組合だより

vol.32



特集 「Re-Woods 森とくらす一日」開催レポート

高島市森林組合

# 第20回 通常総代会を開催しました

令和7年8月28日安曇川公民館ふじのきホールにおいて、第20回通常総代会を開催しました。19名の総代が出席し、書面決議権行使書が134名から提出されました。来賓には、滋賀県西部・南部森林整備事務所の万木浩敬所長、高島市の今城克啓市長、滋賀県議会の清水鉄次議員、海東英和議員にご臨席賜り、それぞれご祝辞を頂戴しました。議事は、拝戸の久保弘議長の進行のもと、下記議案について議論質疑が交わされ、賛成多数を得て全ての議案が可決承認されました。

## 提出議案

- 第1号議案 令和6年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表および附属明細書の承認について
- 第2号議案 令和7年度事業計画及び損益計算書の承認について
- 第3号議案 令和7年度借入金の最高限度決定について
- 第4号議案 一組合員に対する貸付金の最高限度および貸付金利率の最高限度決定について
- 第5号議案 令和7年度諸手数料率の決定について
- 第6号議案 転貸資金の取扱手数料率の決定について
- 第7号議案 余裕金の預入先の決定について
- 第8号議案 令和7年度役員報酬の決定について



## 貸借対照表

令和7年5月31日 現在 (単位：千円)

科目	金額	科目	金額
現金預金	247,029	預り金	18,857
売掛金・未収金	52,333	買掛金・未払金等	61,557
棚卸資産	2,161	短期借入金	33,000
受託造林立替金	45,694	<b>流動負債計</b>	<b>113,414</b>
その他	2,859	農林漁業資金借入金	0
		退職給付引当金等	50,531
		<b>固定負債計</b>	<b>50,531</b>
<b>流動資産計</b>	<b>350,076</b>	<b>負債合計</b>	<b>163,945</b>
有形固定資産	29,047	出資金	50,181
無形固定資産	0	法定準備金	76,145
外部出資金	28,525	積立金	106,376
農林漁業貸付金	0	当期末剰余金	11,048
預託金	47		
<b>固定資産計</b>	<b>57,619</b>	<b>純資産合計</b>	<b>243,750</b>
<b>資産合計</b>	<b>407,695</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>407,695</b>

## 損益計算書

令和6年6月1日～令和7年5月31日（単位：千円）

科目	金額
事業総収益	263,600
事業総費用	161,779
<b>事業総利益</b>	<b>101,821</b>
事業管理費	92,172
<b>事業利益（損失）</b>	<b>9,649</b>
事業外収入	538
事業外費用	867
<b>経常利益（損失）</b>	<b>9,320</b>
特別損益	1,104
<b>税引前当期利益（損失）</b>	<b>10,424</b>
法人税・住民税等	185
前期繰越剰余金	809
<b>当期末未処分剰余金</b>	<b>11,048</b>

## 令和6年度 剰余金処分量

（単位：千円）

科目	金額
当期末未処分剰余金	11,048
法定準備金	2,100
任意積立金	7,000
<b>次期繰越剰余金</b>	<b>1,948</b>



## 令和6年度事業の概要

### ○安定的な組合経営を実現

事業進行管理の徹底や新技術導入、施業手法の見直しにより経営環境を改善し、5年連続で利益を計上して安定経営を実現しています。こうした成果をSNSや広報誌で発信し、若者雇用を進め持続可能な組織体制づくりを進めています。

### ○市場ニーズに対応した木材資源の供給

木材加工や流通業との連携で、建築や土木建設現場の需要を反映した造材が可能となり、木材に付加価値を生む販売を実現。これまで価値が認められなかった枝葉材が、バイオマス発電による需要の高まりなどから流通増となり、木材搬出量を増やすことにつながりました。

### ○公共事業と連携した地域課題を解決する社会的な貢献

戦後造成の人工林が成長し資源量は増加しましたが、気候変動の影響で強風や大雪による倒木被害が頻発しています。道路障害や停電など生活への影響を防ぐため、行政の予防伐採に当組合が技術と経験を提供し、公共インフラ整備を通じて地域住民の安心安全な暮らしに貢献しています。

人口減少や物価高騰の影響で住宅着工が低迷し木材需要は減少するなど、林業を取り巻く環境は不透明です。一方で森林の持つ多様な機能や可能性への期待が高まっており、組合は安全を最優先に集約化施業を推進し、社会情勢の変化に対応できる安定した経営を目指しています。これらの取り組みを進めるにあたり、組合員の皆さまや滋賀県・高島市をはじめとした関係機関の協力に感謝申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 出資口数

（単位：口）

資格区分	当期末	前期末	当期増加	当期減少
正組合員	209,638	209,781	0	143
准組合員	41,267	41,317	0	50
<b>合計</b>	<b>250,905</b>	<b>251,098</b>	<b>0</b>	<b>193</b>

## 令和7年度事業の概要

統括	<b>健全な組合経営の推進</b> 業務改善を進め、効率性・収益性の高い事業を実施	
	<b>組織力強化</b> 外部有識者の指導を受け、役職員の意識改革と資質向上を図る 林業事業体・直営施業系の技術力向上により担い手を育成	
	<b>木材供給の安定化</b> 森林実態調査を進め、境界明確化と施業集約化による計画的な森林経営を推進	
	<b>森林整備事業の受託・連携</b> 公共団体や民間事業者からの森林整備事業を積極的に受託 各機関と計画を共有し、効率的な森林整備を実施	
	<b>森林の多面的役割の継承</b> 経済性・環境性など森林や林業の持つ社会的役割を理解し、付加価値を創造して次世代へ継承	
	<b>関連産業との連携</b> 木材加工・流通・販売業界と連携し、収益性を高め持続可能な地域の基幹産業としての役割を確立	
指導部門	<b>森林所有者支援</b> 将来的な森林管理課題に対応するため、先進事例を研究し、長期施業受委託契約を拡大	
	広報誌「森と、杣と。」の発行 外部有識者の指導を受けつつ適正な事業進捗管理を行い、研修会や講習会へ積極参加し、組合のコンプライアンスと能力向上を図る	
販売部門	<b>木材販売</b>	木材搬出量を年間9,000m <sup>3</sup> 木材流通を巡る社会情勢の変化を注視しつつ、安定的な事業推進に努める 主伐施業で発生する枝葉(D材)を搬出・販売し、市内外事業者と連携することで、立木材積の約30%を占める未利用材も所有者へ還元する
	<b>特用林産</b>	収益構造の改善を目的に、今津町保坂の特用林産事業施設を活用しており、引き続きシイタケ菌床生産の外部委託事業を継続する
森林整備部門	<b>森林整備</b>	森林経営計画に沿った施業の集約化を進め、搬出間伐を推進して木材供給を安定化市や県等の公共事業に積極対応 滋賀県の航空レーザー測量を活用し、森林境界の明確化を迅速かつ効率的に進める 直営体制を強化するとともに、地域の林業担い手育成を推進 気象害に耐える2級林道相当の基幹道を整備し、森林収益性の向上を図る 主伐・再造林後の獣害対策を安価に工夫し、森林所有者の負担軽減へ 車両系が適さない箇所には架線系搬出を導入し、森林整備の多様化と技術力向上を図る
	<b>利用</b>	再造林や地域材利用の誘導施策を活用し、温暖化防止と経済効果を周知 自立的な木材利用モデルの確率に向けて、主伐後の未利用材を事業者と連携し有効活用



# 森をまもり、森をつなぐ 高島市森林組合 20年のあゆみ

HISTORY OF TAKASHIMA CITY FORESTRY ASSOCIATION

朽木村森林組合と高島郡森林組合が合併し発足した高島市森林組合は、設立から20年を迎えました。

これまで、森林整備をはじめとする木材生産事業を実施しつつ、時代の変化を読み取り、新たな技術の研究や導入、地域との連携など、多彩な取組を進めてきました。本年表では、20年間の主な出来事を振り返ります。

## 搬出間伐・集約化施業 推進



全国的に搬出間伐が主流となり、併せて個々の所有林を面的にまとめて効率的に整備する集約化施業が始まりました。間伐による森林の健全化を実現するとともに、木材の安定供給と効率的な森林整備を可能にする重要な転機となりました。



## 森林施業係(直営班)設置

組合が自ら現場の施業を担う部署として「森林施業係」を設置。技術の継承および蓄積、安全管理の徹底、後進の育成が可能となり、組合の施業力向上に寄与しています。



## 重要インフラ整備事業着手

道路や電線など生活インフラを守るため、強風や積雪による倒木を未然に防ぐ予防伐採に着手。行政と連携した社会的意義の高い森林整備として位置づけられ、地域の安全にすることとなりました。

## 製材業を事業承継

木材の伐採、製材、乾燥、加工、販売まで一貫で担う体制を構築するため、木材製材加工会社 ITOGEN を設立。高島産材の付加価値向上と地域材流通の強化につながり、新たな産地形成の土台となっています。

## 2005

平成17年

## 高島市森林組合 発足

朽木村森林組合と高島郡森林組合が合併し高島市森林組合が発足。市内の森林整備や木材生産を一体的に担う体制が整いました。地域の豊かな森林資源を守り、次世代へつなぐ基盤として、新たな歩み从这里から始まりました。



▲当時の新聞より

## 2012

平成24年

## 2016

平成28年

## 境界明確化事業 開始

森林所有者の境界を正確に把握し、境界杭の設置や測量を進めるため、境界明確化事業を開始しました。これにより計画的な森林管理の推進、適切な森林整備作業につながります。

## 2018

平成30年

## 2020

令和2年

## 高性能林業機械(ハーベスタ)導入

伐倒・造材を一台でこなす高性能林業機械としてハーベスタを導入。作業の省力化と安全性向上に大きく貢献し、搬出間伐の推進や木材生産の安定化に向けた体制強化のきっかけとなりました。

## ICT機器(ドローンなど)導入

急峻な山林の状況把握や境界調査の効率化をめざし、ドローン撮影やGNSS測量機を導入。デジタルデータを活用した森林管理が可能になり、施業計画や境界明確化の精度が格段に向上しました。



## 2023

令和5年

## 2024

令和6年

## 森とあそぶ一日「Re-Woods」開催

地域と森をつなぐ体験型イベントとして Re-Woods を始動。木にふれ、遊び、学ぶ場として多世代に親しまれ、森林組合の理念を発信する象徴的な取り組みとして徐々に共感を集めています。

## 2025

令和7年

SHIGA TAKASHIMA

# Re-Woods リ・ウッズ

## 森とくらす一日

令和7年10月18日に「Re-Woods 森とくらす一日」を開催しました。今年で2回目となる本イベントは、昨年に引き続き多くの企業・団体の皆さまにご協賛をいただき、木や森に関心のある市内の方々約500人をお迎えしました。今年のRe-Woodsのコンセプトは“くらしの中に木を取り戻す”こと。森の恵みを見つめ直し、木に触れ、遊び、つくり、味わうことで、木と人との距離をもう一度近づけたい——そんな思いを込めています。当日は、子どもから大人まで幅広い世代が木と過ごすひとときを楽しむ姿が見られました。



林業の仕事を体験

### 木をきる

#### 大迫力の林業機械実演

会場に響くエンジン音とともに始まった林業機械の実演。高性能林業機械が丸太をつかみ、切り、積み上げていく一連の動きを披露すると、初めて見る方も多く、その迫力に圧倒されながらも拍手が起きました。森の最上流で働く林業の現場を知る機会となりました。

#### 多くの子どもがチェーンソーを体験

チェーンソーの重さ、振動、木を切る感覚——普段触れることのない道具を体験できるプログラムでは、子どもたちが真剣な表情で挑戦する姿が見られました。「木を切る」行為の裏にある技術や責任、楽しさを感じてもらおうきっかけとなりました。



手と素材から生まれるものづくり

### 木でつくる

#### 木工ワークショップが大盛況

ツールづくりやブックエンド、ティッシュ箱など、実際に木を削り、磨き、組み立てるワークショップは大好評。自分の手で木と向き合う貴重な時間をお楽しみいただきました。木の年輪や木肌を布に転写するシルクスクリーン体験、山の植物で布を染めるワークショップでは、自然素材そのものの美しさが浮かび上がり、子どもから大人まで作品づくりに夢中になっていました。

#### デジタル加工 ShopBot® 体験

木材をコンピュータ制御で加工するデジタル木工にも多くの人が参加。伝統とテクノロジーを掛け合わせ、木の新しい可能性を開くプログラムとして注目を集めました。



遊びながら“木が好き”になる

### 木にふれる

#### 木あそびランド・ジャングルジム

木でできたボルダリングやジャングルジム、アスレチック、かんなくずプールは子どもたちに大人気。木の香りに包まれながら体を動かし、遊びの中で自然と木への親しみが育まれる空間となりました。



#### TAKASHIMA モルック

昨年に続き登場した「TAKASHIMA モルック」。高島市産の木を使ったオリジナルゲームで、一発逆転もあるルールに大人も子どもも大盛り上がり。木を通して生まれるコミュニケーションのゲームとして定着しつつあります。





TALK SHOW

高島市長 今城克啓さん × FM COCOLO DJ 野村雅夫さん

## “森とつながる暮らし”

**野村** 実は私は大津市育ちで、瀬田川が小さい頃の遊び場でした。大学ではワンダーフォーゲル部で比良山系を歩き、湖西の自然に魅了されました。近年は高島に拠点が欲くなり、古民家を購入して会社の保養所として使っています。月に3回は訪れ、自然の中で遊び、湖や山の恵みを味わいながら気持ちを整える時間を過ごしています。高島は本当に特別な場所です。

**今城** 最近では移住者や二拠点生活の方も増えていると感じます。野村さんのように高島の空気や水を求めて来られるのでしょうか。

**野村** 今日の会場には針畑から来られている方もいらっしゃいました。私は学生時代に自主映画を撮るため針畑に泊まり込みました。そこは茅葺きの家が残り、まさに日本の原風景のようでした。最近はアウトドアやキャンプの流行もあり、高島を訪れる方が増えていると感じています。もっと多様な魅力を知ってほしいと思います。

**今城** 針畑は私も大好きな地域です。安曇川の水源としても重要で、毎週通っていた時期もありました。若い方々にも積極的に関わっていただきたい地域です。

FM COCOLO DJとして活躍する野村雅夫さんを迎え、高島の森や文化、これからの地域のあり方について語り合うトークイベントを開催しました。森と人がどのように関わり、どう暮らしを支えてきたのか——  
来場者と共に考える時間となりました。

**野村** 「関係人口」が全国的に注目されています。私にとっての高島のような心の拠りどころの場所があると、暮らしにも仕事にも良い循環が生まれます。高島はその役割を果たせると思います。

**今城** まさにその通りです。観光でもなく定住でもなく、継続的にさまざまな形で多くの方に高島に関わり続けてほしいです。

**野村** そういう意味では、高島の魅力の一つである自然、特に山林を守っている森林組合の存在は貴重ですね。

**今城** はい。一方で山林には課題もたくさんありますが、数え切れない魅力もたくさんあります。今日ここに来られているような若い方々にも興味を持って関わり続けて欲しいです。



## 暮らしに木を迎える“市場” 木を手にいれる

### 木の市場（競り）

一枚板のテーブル、ヒノキのまな板、クリのコスターなど、職人の手で仕上げられた木工製品が今年も勢揃い。競り形式で販売される木の製品には、会場から笑い声や声援が飛び交い、木の価値や魅力を再認識する時間となりました。



## 森を味わう — マルシェと森の文化 高島市のおいしいもんマルシェ

森の恵みが注ぐ琵琶湖の魚、地元の野菜、お菓子、パン、ピザなど、高島ならではの味が集まりました。「山と湖とまち」のつながりを“食”を通して感じられるブースが好評でした。



## 木とともに 生きる未来へ

木は、暮らしを支え、彩り、豊かにしてくれる存在です。

Re-Woods は、木と森の魅力や可能性を改めて見つめ直し、日々の暮らしの中に“木を迎える”きっかけをつくる場として生まれました。手で触れ、遊び、つくり、味わうことで、木のあたたかさや森の豊かさに気づくことができます。2025年の Re-Woods が、皆さんの心に森の記憶を残し、未来の森づくりへとつながっていくことを願っています。



当日の映像は  
こちら

### 協賛いただいた皆さま

クリエイト・マエダ 甲賀林材 コマツ滋賀 澤村 住友林業フォレストサービス スンエン 西垣林業 ウエストレイクホテル 可以登楼 大開建設 たくみ機工 Ai-Ko運輸 朽木GreenKONG 湖周造林 坂田工務店 清水興業 駿遠商事 田辺造林 東海大阪レンタル 松阪木材 山下オート 山下石油店 山笑う ヨシダヤ（敬称略、順不同）

## REPORT

## 大学や企業とともに「木製サイクルラック」を制作しました

びわこ成蹊スポーツ大学と坂田工務店、高島市森林組合が連携し、高島産材を活用した木製サイクルラック制作プロジェクトを実施しました。学生は搬出間伐の現場で伐採作業を見学し、実際にチェーンソーでラックに合わせた長さに木材をカット。複数人での人力運搬を通じ、木材の重さや扱いの難しさを体感しました。続いて、製材所 ITOGEN を訪れ加工工程を学び、仕上がった材を坂田工務店の指導のもと加工、組み立てて完成させました。

地域材を自らの手で活かすプロセスを経験することで、若い世代が林業とものづくりをより身近に感じる貴重な機会となりました。



## REPORT

## 木育施設「しがモック」の内装材に高島市産材が使われました

8月24日、滋賀県が新たに木育施設「しがモック」を野洲市にオープンしました。滋賀県産の木材「びわ湖材」をふんだんに使用し、子どもから大人まであらゆる世代が、木とふれあったり木に学ぶことのできる施設となっています。

当組合が高島市内の森林から伐り出し、子会社の製材所 ITOGEN で製材された木材も多く使われています。メインスペースには、高島市産のヒノキやスギのフローリングが張られ、比良山地をイメージしたオブジェ（遊具）や琵琶湖を模した木球のプール、木組みジャングルジムも置かれ、遊具を通じた遊びの中で郷土愛や豊かな感性が育まれます。



## REPORT

## 森林公園くつきの森で「どんぐりプロジェクト」に参加しました

10月22日、森林公園くつきの森で開催された「朽木中学校 Step by Step どんぐりプロジェクト7.0」に参加しました。このプロジェクトは朽木中学校一年生を対象に、くつきの森で森林整備に取り組む太陽生命が連携して実施している取り組みです。当組合は、活動内容のレクチャーをはじめ、伐採現場の見学やチェーンソー体験など幅広いプログラムを提供しました。

参加した生徒からは、チェーンソーの重さや大きな音、激しい振動など、普段は得られない貴重な経験を楽しんだという声が多く寄せられました。今後も地域の活動に、積極的に取り組みます。



## REPORT

## スギの品種別地域制比較試験林を維持管理しています

当組合職員も参画している「たかしま林業研究会（たかしま林研）」では、スギの品種別地域制比較試験を行っています。この試験は約50年前、積雪の多い高島地域において耐雪性に優れたスギ品種を選定するため、全国から収集した12種類のスギを、朽木麻生の現くつきの森内に植栽したことから始まりました。植栽後は、雪起こしや下刈り、除伐などの保育作業とともに成長を見守ってきました。今年度の活動として、研究概要を伝える看板が長年の風雪により劣化が進んでいたため、このほど修理し立て替えました。

植栽当時を知る会員は少なくなりましたが、たかしま林研としてこの研究を引き継ぎ、育成状況を観察しながら、高島地域にふさわしいスギ品種の選定に向けた活動を続けます。



## REPORT

## 豊田森林組合への視察研修に参加しました

全国的に主伐・再造林が推進され、滋賀県では将来の森林づくりの基盤となる「新しい林業」モデル構築に向けた取り組みが進められています。その中で課題とされる境界明確化や作業班への発注および雇用形態について、豊田森林組合への視察研修に高柳技師と向井技師が参加しました。

豊田森林組合は平成30年度にすべての職員と面談し、作業班への発注形態、給与体系、業務内容など労働条件の見直しを行ったことにより退職者が減少し、現場采配を容易にする体制を整えられました。特に個別に職員面談を行うことで、共通課題の確認と共有をし、改善に向けて個々の職員に寄り添った組織運営をしている点が印象に残った研修となりました。



## REPORT

## 企業による森林（もり）づくりを進めています

森林は、木材生産以外にも、生物多様性の保全や土砂災害の防止、水源のかん養、レクリエーションの場の提供など、多面的な機能を有しており、私たちの生活と深くかかわっています。一方で、木材価格の低迷等から手入れが行き届かず放置され、森林の荒廃が危惧されています。

この対策の一環として、企業による森林整備や保全活動を支援することで森林の新たな価値を掘り起こすため、企業と森林をつなぐ仕組みをデザインする一般社団法人 more trees（モア・トゥリーズ）との連携を図っています。8月27日にはmore treesの水谷伸吉事務局長をお招きし、高島市内の森林を案内し、アドバイスをいただきました。



# 林業と道—森を生かすための“インフラ”とは？

森林で行われる作業は、木を植え、育て、伐り、再び次の森をつくるという長い循環で成り立っています。その工程を支えているのが「道」です。道がなければ作業員や林業機械が安全かつ容易に現場へ入ることはできず、森林整備や木材生産にとって、道は欠かせない基盤であり最も重要なインフラといえます。

林業で使われる道は、大きく三つに分類されます。一つ目は「森林作業道」です。滋賀県森林作業道作設指針に基づき幅員2.5～3メートル程度で作設され、小型から中型的林業機械が現場に入り伐採や搬出を行うための道です。植栽・下刈り・獣害対策など、再生林や保育作業のアクセス路としても使われ、森林を長期的に管理するうえで欠かせません。二つ目は「林業専用道（林専道）」です。要森林整備区域に設置される路網の基幹となる道で、堅固な路盤や排水構造を備えています。森林作業道より構造が強化され、広域的な施業を支える中心的な道路として機能します。効率的な木材搬出や施業の安全性向上につながる、中規格の管理道路といえます。三つ目は「林道」です。国・県・市町村が整備主体となる公共性の高い道路で、幅員3～5メートル以上と広く、車両の離合が可能な路線もあります。森林管理や木材搬出に加え、地域住民の生活道路や災害時の防災・避難路としての役割も担い、名称が付けられ地図にも表示される、森林インフラの中でも最も公共性の高い道です。

これらの道が適切に整備されることで作業効率が向上し、森林経営の持続性も高まります。また災害発生時には倒木処理や現場確認が迅速に行え、地域の安全にも寄与します。森づくりと暮らしを支える多面的な価値を持つのが林業の道なのです。

現在、高島市内では民間事業者としては県内初の林業専用道の整備が進んでいます。目的や設計、現場の様子は次号で詳しく紹介します。



森林作業道



林業専用道



林道

組合職員の意外な一面を紹介します



技師 森林整備課森林施業係  
リヒートン・ダグラス

## Vol.8 職員の横顔

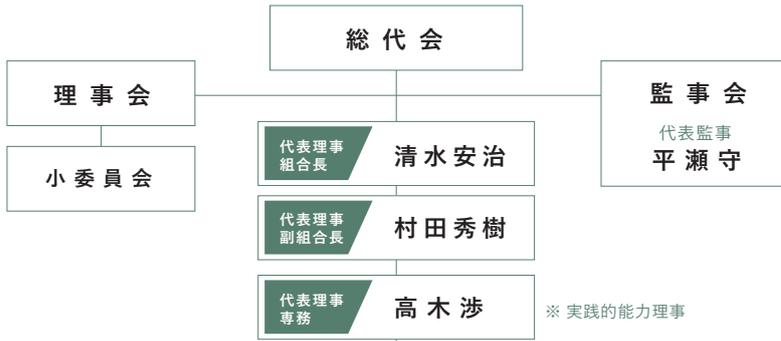


私の趣味は筋トレです。趣味と聞くと楽しいことを想像しがちですが、筋トレは同じ動きを繰り返す、もしかすると世界で一番面白くない運動かもしれません。山の仕事を始めた当初は、毎日体を動かすため運動は不要だと思っていました。しかし実際には、チェーンソー作業で腰や肩に痛みが出て疲労も残ります。日ごろから運動を続けることで、こうした不調は軽減されました。現在は週3回ほどジムに通い、無理をせず体調管理を心がけています。好きなビールも楽しみつつ運動を続けることで体力が向上し、姿勢も良くなったと感じています。最近はランニングや登山にも興味が湧き、来春から新しいチャレンジを考えています。



# 高島市森林組合組織図

令和7年12月1日



常勤理事	2名
非常勤理事	13名
非常勤監事	3名
合計	18名

職員	男	15名
(パート含む)	女	6名
合計		21名

### 森林整備課

課長 清原猛史

森林計画係	森林施業係		
係長(兼務) 清原猛史	係長 島本達	主任 俣野長之	主任 来見嘉卓
主任 北岡孝太	技師 ヒートン・ダグラス・リチャード	技師 高岸隆己	技師 野崎将司
技師 高柳美里	技師 櫻井祐斗	技師 宮田泰成	継続雇用 甲斐文男
技師 向井優佳	嘱託職員 伊藤和幸		
技師 澤田圭吾			

#### 業務内容

受託造林、施業集約化、森林経営計画、加工品販売、病虫害防除、素材販売、運搬、県営林・市有営林・造林公社事業、諸請負事業、安全管理指導など

### 総務課

課長 志村恵子

総務経理係	企画管理係
主任 饗庭郁恵	主任 桂田孝太
主任 勝野真士	主事 清水由美子

#### 業務内容

役職員の福利厚生・労務管理、会計、庶務、組合員管理、財産管理、受託造林精算事務、森林保険事業、購買事業、一人親方事務など、椎茸菌床生産の指導管理

## New Face! 新入職員紹介 2025年春から組合職員として仲間入りした2人を紹介します!

森林整備課森林計画係  
(滋賀県高島市出身)

さわだ けいご  
**澤田圭吾**



大学生の頃から奈良、大阪に15年でしたが、高島を離れている時間が長くなるほど高島の美味しい食べ物や人の温かみ、それらを育んできた自然の魅力を改めて感じました。高島の自然や伝統を残しつつ、地方の発展につながる仕事ができるように頑張ります。

総務課企画管理係  
(滋賀県高島市出身)

しみず ゆみこ  
**清水由美子**



新しい環境でチャレンジしたいと思い、10年余り勤めた会社から転職しました。主に補助金の申請業務などを担当しています。知らなかった森林の魅力を発見していきたいと思っています。どうぞよろしくお祈いします。

## 林業の担い手、募集中。

林業従事者の多様な働き方を提案し、地域林業の安定的な運営を具体化するために、職員を募集しています。「フルタイムでしっかり働きたい」「パートタイムでマイペースな働き方を実践したい」「林業の現状や自分の適性を知るためにインターンにより経験してみたい」など、自らのキャリア形成に応じた働き方でチャレンジしてください。

フルタイム職員  
パートタイム職員  
有給インターン

詳しくは、当組合HPをご覧ください。

2025年6月～2025年11月の木材出荷量は3,305<sup>m</sup>でした。うち、建築用材等として取り扱われるA材は765<sup>m</sup>で、平均単価は15,100円/<sup>m</sup>でした。合板用材等として取り扱われるB材は1,323<sup>m</sup>で、平均単価は13,400円/<sup>m</sup>でした。製紙用・バイオマス発電等として取り扱われるC材は1,217<sup>m</sup>で、平均単価は8,300円/<sup>m</sup>でした。

昨年、同時期の平均単価と比較すると、A材は300円/<sup>m</sup>、B材は300円/<sup>m</sup>、C材は1,400円/<sup>m</sup>とそれぞれ上昇しました。AB材ともにわずかな上昇でしたが、C材は大幅に単価が上がりました。要因としてはバイオマス発電用の引き合いが強いことが考えられます。

今後は、建築用材になるA材を中心に高値で取引できるよう、市場の状況を把握し適切に販売していきます。また5～9mの長尺材はその希少性から比較的高値で取引されることが多いため、注文があれば積極的に取り組み、より森林資源の価値を高める努力を続けてまいります。



## 薪とホダ木の販売をしています

薪とホダ木を販売しています。

規格に合わず製品化できない間伐材や木材を薪やホダ木として製品化し、森林資源の有効活用を目指しています。価格などは総務課までお問合せください！



### 台風、強風対策大丈夫ですか？

台風や強風により倒れるおそれのある住宅敷地内の立木や、成長しすぎて通行の妨げとなる立木を専門の技術者を派遣して安全に伐木します。組合にお気軽にご相談ください。

現地確認のうえ、お見積もりします。



### 組合員の名義変更はお済みですか？

組合員の名義人となっておられる方が、相続や世代交代により名義を変更される場合や、住所の変更がございましたら、変更の手続きをお願いいたします。

該当の方には必要書類を送付いたしますので、電話（0740-38-2214）もしくはメール（info@takashima-forest.jp）にてご連絡ください。



## Instagram & YouTube

＼ 組合や森林のことなど発信中！ ／

日々、高島の山々に繰り出す高島市森林組合の職員が、林業のコト、木のコト、森のコト、山のコトなど自然にまつわる話題をお届けします。組合員様や、木や山が好きな方も、ぜひフォロー・いいねをお願いします。



Instagram  
@takashimashi\_forest



YouTube  
@高島市森林組合

## 高島市森林組合

HP <https://takashima-forest.jp/>

〒520-1412 滋賀県高島市朽木野尻 364-2

電話 0740-38-2214

FAX 0740-38-3277

メール info@takashima-forest.jp



高島市森林組合  
HP